

RSウイルス妊婦用ワクチン 「アブリスボ®」の接種のお知らせ

(2024年7月1日開始)

RSウイルスに対するワクチン「アブリスボ®」を妊婦さんに接種すると母体内でウイルスに対する抗体が作られ、その抗体が胎盤を通じておなかの赤ちゃんに届きます（母子免疫ワクチンといいます）。母子免疫ワクチンにより、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルス感染を予防したり、感染しても重症化を防ぐ効果が期待されます。接種をご希望される方は妊婦健診時に担当医へお伝えください。

RSウイルスとは

RSウイルスはあらゆるところに広く生息するウイルスで、日本では生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼ100%の子どもがRSウイルスに初感染するといわれています。乳児の細気管支炎や肺炎の主な原因であり、特に生後6ヶ月未満で感染すると重症化することがあります。

接種時期

妊娠24週～妊娠36週

- ・妊娠28週～妊娠36週に接種すると有効性がより高いとわかっています。
- ・接種後14日以内に出生した場合の児への有効性は確立されていません。
- ・本剤の児への効果の持続性についてはわかりません。

投与方法

0.5mlを1回、筋肉注射

金額

¥38,500（税込）

お申し込み

妊婦健診時に接種が可能です。接種をご希望の方は担当医にお伝えください。

※院内在庫数により、お申し込み当日に接種ができない場合があります。

参考資料

RSウイルスを学ぶ
(Pfizer社Webサイト)



アブリスボについて
(Pfizer社Webサイト)



日本小児科学会
Webサイト



日本産科婦人科学会
Webサイト



ご不明点やご質問がありましたら、妊婦健診時に担当医にお尋ねください。



医療法人財団順和会
山王病院

東京都港区赤坂8-10-16 電話：03-3402-3151（代表）
診療受付時間：8：30～11：30 13：00～16：30（月～土）※各診療科・曜日によって異なります。
ご予約・診療に関するお問い合わせ 電話：03-6864-0489（予約センター）